

大濱信泉プロジェクト『勇気づけの教育』の推進 (62)



～ 「勉強の本質」とは ～

石垣市教育委員会 学校教育課長 前三盛 敦

「勉強大好き!」「勉強が楽しくてしょうがない。」という方はどれくらいいらっしゃるのでしょうか? 勉強を楽しく続けることは、子ども大人にかかわらず難しいことだと思います。

では、どうすれば勉強を楽しめるのでしょうか? 勉強は、ダイエットと似ています。それは、どちらも続けないと結果がでにくいということです。人は、結果がでないと努力した喜びや達成感を味わえないので、あきらめやすくなってしまいます。

では、なぜ、ゲームは続けられるのでしょうか。理由はいたってシンプルで、楽しいから続けられるのです。すなわち、勉強も楽しければ続けられるはずです。続けるとテスト等で良い結果が得られます。良い結果が出ると、意欲が向上します。するとますます結果がでます。つまり、いい循環が生まれるというわけです。

では、どんなときに勉強は楽しいのでしょうか。勉強は、今までわからなかったことがわかるようになったり、難しい問題が解けるようになったとき「できたー」と嬉しい気持ちになります。また、今まで習ったことが、次の学習に活かされたり、これまでの学習をもとに新しい何かを思いついたりしたりすることができる、さらにワクワクした気分になります。

つまり、「わかること」そのものが、勉強の楽しみなのです。「わかる楽しみ」に必要なことは、「勉強のやり方」を知ることです。勉強のやり方がわかれば、勉強はどんどん進んでいきます。勉強の本質は、「できない」を「できる」ようにすること。「わからない」を「わかる」ようにすることです。もしかしたら、子ども達はこのことを知らずに、間違っただけの勉強法をしているのかもしれない。

例えば、問題を解いた後、答え合わせをしない子。どうでしょうか、これは「できない」が「できる」ようになっているのでしょうか。答え合わせをしないと、そもそも当たっているのか間違っているのか、できたのかできなかったのか認識することができません。問題を解けたと思ったら、解答を見て、確認と直しをして初めて「勉強」になるのです。

また、とにかくひたすら漢字や英単語を書いている子。これはどうでしょうか。書いて覚えることはとても良いことですが、数回書いた時点ですでに覚えてしまっているとしたら、それ以上の反復に意味があるのでしょうか。「できているもの」と「できていないこと」を意識して勉強することが大切です。

先に、勉強とは「できない」を「できる」ようにすること、「わからない」を「わかる」ようにすることだと伝えました。この機会にぜひ、「勉強の本質」を念頭に、お子様の勉強方法をチェックしてみることをお勧めします。

ここで、私から「勉強の本質」を踏まえた勉強法を一つご紹介します。まず、子どもの教科書やドリルを見て下さい。おそらくどのページも勉強の進捗が確認できない状態だと思います。そこで、教科書や問題集等に、「余裕で解けた! ○」、「正解したけど自信がなかった。もう一度確認したい。△」、「まったくわからなかった。×」と印をつけることをお勧めします。○は、もう1回やる必要はありません。△と×は、確実にできるようになるまで直し直すことで確かな力がつきます。ただし、そこで自分の力を伸ばすためのポイントがあります。それは、「解答と解説」にしっかり目を通すことです。このステップを踏むことで、確実に力がついてきます。

今、学校では、子ども達の主体的な学び『自学力』の育成を図っています。自学力とは『自分で考えて、自分で学び、振り返って、次に活かし、継続する力』のことです。ぜひ、子ども達の『自学力』を伸ばしていきましょう。 参考書籍「中学生からの勉強のやり方」著：清水章弘